



# コツコツ とこどん

大仙市立太田中学校  
令和4年6月29日  
NO. 44



うららかに たくましく ～耕し 萌えたち みのらせ さきみだる～

『教室は間違える場』『誤答歓迎・失敗OK』

## さわやか太中生を見ていただきました

6月24日(金)に、南教育事務所仙北出張所、大仙市教育委員会から指導主事の先生、郡内2中学校の社会科の先生をお招きして、1年B組の社会の研究授業を行いました。太田東小からも3名の先生が参観してくださり、子どもたちの授業に臨む姿勢や中学生としての成長ぶりに目を細めていました。



大野先生の支援を受け、「自分たちでつくった世界の国クイズを使って、世界の国々の地域構成について考え、次の勉強へのつながりを見出そうとする」ことをねらいとする授業でした。先生の巧みなコーディネートと全員に配布されているタブレットを使っている交流、また、互いに質問したり答えたりしながら、活発な活動が展開され、とても楽しそうな姿が印象的でした。「一人一人が活躍する場や認められる場、他と関わる場、見方・考え方を働かせる場」があり、意欲的で活発に学び合い、学びを深める姿が見られましたし、「分かった、できた」を実感していました。まさに、今年度から完全実施された新学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」、時代が求めているICTの積極的活用による授業でした。今求められているのは、



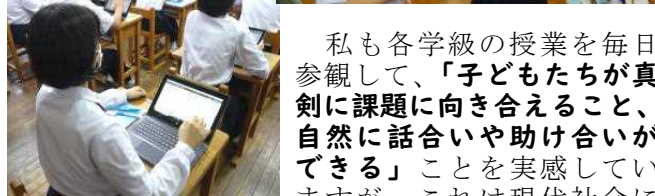
正解を出すよりも正解にたどり着くまでの過程、学び方を学ぶ学習に重点が置かれています。その趣旨が生かされていましたし、学び合う子どもたちのたくさんのおもしろい発見が目にすることができました。

参観された指導主事の先生からも「生徒の姿勢・視線を見ただけで、しっかりとした学習規律が身に付いていることが分かる。学びに向かう様子もすばらしく、社会科の学習を楽しんでいることもよく伝わってきた。また、知識が身に付き、単元のねらいが達成され、深い学びとして概ね達成されている。」とお褒めの言葉と今後の授業の在り方への指導をいただきました。その指導を社会科のみならず全教科で生かしながら太中生の総合的学力の向上に努めていこうとする気持ちをより強くした1日です。

6月28日(火)には、仙北出張所長、南教育事務所主任管理主事、仙北出張所副主幹をお招きした訪問があり、授業をご覧いただきました。

先生方からは、授業の中子どもたちについて、次のようなお褒めの言葉をいただきました。

「口で言うのは簡単だが、実は難しいことである落ち着いた態度で、誰一人掛けることなく全員が一生懸命な姿で授業に臨んでいて、明らかに成長の姿が感じられる。継続していくことで、この後の大きな成長も期待される。」



私も各学級の授業を毎日参観して、「子どもたちが真剣に課題に向き合えること、自然に話し合いや助け合いができる」ことを実感していますが、これは現代社会に

においても大切にされる課題対応能力や人間関係形成能力につながることで、まさに授業の中でのキャリア教育とも言えます。

しかし、課題も感じています。その第一は、**失敗を恐れずに発表すること**です。「間違ったら、失敗したら」の気持ちからでしょうか？話し合った内容や考えを個人内、グループ内で完結させてしまい、全体に向けて発信することに躊躇していること。また、単語の羅列や最後まで言わなくても、ある程度相手の言いたいことが分かっただけで、**最後まで筋道を立ててきちんと伝えるところまではまだ距離があること**。自分の考えを堂々と発信すること、根拠を明確にして最後まで伝えることや論理的に考え表現することは、コミュニケーション能力、自己表現力として今の時代に求められる力、将来に必要な力です。

そのような力を育てていくよう、『教室は間違える場』『誤答歓迎・失敗OK』を意識化させ指導してまいります。表現力やコミュニケーション能力は学校のみならず、地域生活でも家庭でも伸ばせる力でもあります。「あうんの呼吸」「目は口ほどにものを言う」ということもあります。そのような力を伸ばすため、ご家庭でもきちんと最後まで話をさせていただければ幸いです。